



大村小学校 学校だより
R3.11.22(月) 第20号
校長 中嶋 邦治

明日は勤労感謝の日

勤労感謝の日は、「勤労をたっとび、生産を祝い、国民が互いに感謝し合う日」とされ、国民の祝日となっています。なんとなく分かりづらいと感じる人も少なくないと思います。そこで由来や起源について少し調べてみました。

勤労感謝の日



もともとは新嘗祭（にいなめさい）



新は「新しくできた穀物」 **嘗**は「神様に納め、味を試す」という意味。つまり新嘗祭は、その年に収穫された米や野菜を神様に奉納してありがたいいただく儀式です。古い書物によると、飛鳥時代（1400年ほど前）から行われていたのだそうです。

神様に五穀豊穡（作物がたくさんできますように！）を願う祈年祭と、収穫を感謝する新嘗祭はとりわけ重要な神事とされ、今でも宮中や全国の神社で行われています。TVニュースでは、天皇陛下が自分で育てられた稲を刈られる様子が映し出されます。

勤労感謝の日から分かる日本の心

農耕を営み、お米を主食とする日本では、昔から「食」を大事にし、神聖なものと考えてきました。米や野菜、魚などを天の恵みと考え、神様に感謝してきました。祭りの原点もそこにあります。このような日本人の感性は、私たちの日常にも息づいています。おいしいご飯をいただけることに感謝し、食事に至るまでの多くの人々の働きに思いを馳せる。これが「いただきます」「ごちそうさま」という言葉になっています。



いただきます！



家族の間でも・・・現在の勤労感謝の日は、農作物に限らず全ての生産を祝い勤労を労う日になっています。由来や起源を探ると、日本人が育んできた深い思いや感謝の気持ちを感じます。あらゆる方々に感謝をするのはもちろんですが、家族の間でも「ありがとう」「おつかれさま」と声を掛け、いたわり合う姿勢を大切にしたいと思います。明日の夕飯、食卓に並んだ料理や家族の顔を、いつもよりちょっとだけ心を込めて、見つめてみてはいかがでしょうか？

県大会優勝おめでとう！ 九州大会出場へ

小学生バレーボール長崎県大会で、見事に男女とも優勝！新聞にも写真入りで大きく紹介されました。12月25日から沖縄県で開催される九州大会へ長崎県代表として出場します。がんばれ！



野鳥の死骸やフンに注意！



国内で鳥インフルの確認が相次いでいます。以下のことにご注意を
○野鳥の死骸やフンにさわらない。
○同じ場所で複数の野鳥の死骸を見つけたら市役所へ連絡をお願いします。
○野生生物の排泄物等にふれたり、靴で踏んだりしたら、手洗いや洗浄、消毒を